



久 留 米 大 学

御 井 図 書 館 ニ ュ ー ス

No.89 2015 年 9 月 1 日 発 行

話題の市民図書館

文学部長 濱 崎 裕 子

若者の活字離れが言われるようになって久しく、遊びでも勉学でも調べものは全てインターネット。「図書館に行く」という発想すらない大学生もいる。そこで最近話題の市民図書館に注目してみたい。

公共施設としての市民図書館が変貌しつつある。地域活性化の要素として計画されることも多くなり、交流拠点や文化情報発信の機能が強まっている。市民図書館とは言え、官営的体質から民営的体質になってきている。企画段階からオープン後も住民参画の協働で行なう事例が増え、民間指定管理者が独創的な運営を行なっているところもある。

そして、かつては本が十進分類法に基づいてきっちり棚に並び、閉架書庫も多く、“静”の建物であったが、近年では書棚が創り出すアーティスティックな空間で、来館者がいろいろな姿勢で本を読んだり、映像や音楽も楽しめる部屋を動き回ったり、“動”の「居場所」へと変わっている。話題を呼ぶ市民図書館のポイントは、決して蔵書数ではなく、コンセプトのユニークさや運営のおもしろさ、市民の中の限られた人を対象としない多世代・広域の人に開かれたもの、飲食・おしゃべり・自習禁止など規制ばかりが並べられるのではなく、「あれもできる、こんな可能性もある」という創意と発展の感じられる施設である。

全国的にも話題になった武雄市図書館を訪ねた。入館したらまずコーヒーのいい香り。それだけでリラックスしてくる。そして吹き抜け空間の1,2階に緩やかなアールを描いて壁一面に並ぶ開架書籍に圧倒される。エントランス近くに雑誌がずらりと並び、つい手に取ってみるが、「いや図書館に来たのだ」と思い、貸出図書を見て回る。興味関心のジャンルごとに小部屋のようなブースが連なり、一つのテーマに関する本を多角的に探し出すことができる。ここは独自の22進の分類が採用され、読者視点の本との出会いを誘発する。

2階のキャットウォークに立つと全体像がつかめて来館者がそれぞれの楽しみ方をしている姿を眺めることができる。その奥の学習室に入ってさらに魅力を感じた。これまでの学習室は受験生中心の中高生が自分の参考書を持ち込んで黙々と勉強していた。しかし、その部屋には若者から高齢者までが多様な本を机の上に置き熱心に読んだり書いたりしている。しかも机を区切る立ち壁の棚には辞書や趣味本がさりげなく置かれている。仕事上の書きものなどに疲れてフツと他のことに頭を休めたいときに最適である。

帰り際には、利用者登録をし、気に入った雑誌と文具も買った。まさに発案者のコンセプトに嵌ってしまった。そして、人気の道の駅に向かって車を走らせ、魅力あるまちづくりの一環としての市立図書館を後にした。

私 と “本”

経済学部文化経済学科 3 年 山本 潤一

私が読書を習慣とし始めたのは小学校高学年の時のことだった。当時仲のよかった友人が読んでいた本が面白いのかと尋ねたときに「そんなものは読んでみないとわからない」と言われ、気になって読み始めたのがきっかけだった。そして、いざ読み始めて友人の言ったことの意味はすぐに理解できた。読んだその本は驚くほどつまらなかったのだ。とても楽しそうに同じ本を読んでいた友人を見ていたものだから、さぞや面白いのだろうと思っていた分落胆も大きかった。友人に文句を言うと、次は別の本を薦められた。どうせ今度も同じだろうと思いながらも読み進める。が、次の本は前のとは打って変わって面白いと感じた。そんな私の感想を聞いて、「だから言っただろう」と言った友人の満足げな顔が非常に印象に残っている。

当時、幼心に疑問に思った。なぜこうも面白い、面白くないとはっきりと違って感じるのだろうか。なぜ私と友人とではこうも感じ方がちがうのか。それは、いかに創作の世界といえど、本の中の登場人物たちも人間として形作られているからであるからではないか。人間なら自ら体験したことに喜んだり、悲しんだりと心動かす。そしてそれを読む読者との心の振幅が一致するとき、人は「面白い」と思うのではないか。それはまるで、人と人との繋がりのようなものである。そう考えると、本とは人のようだと思った。気が合わなければそれまでの付き合いだが、気が合えばそこで縁が生まれる。

それ以来、私の中で本を読むことが習慣になった。当時薦められた本も今でも読み続けている。おそらくは今後も読み続けていくのだろう。なにせこの本は、私にとっての友人も同然であるからだ。そして将来、もし私に子どもができたときにはこう紹介しようと思っている。

_____「私の友だちを紹介しよう」と。



『選書ツアー』を実施しました！

御井図書館では年に1回、学部生を対象に選書ツアーを実施しています。1人5万円を上限に、自分が読みたい本・図書館に備え付けて欲しい本を店頭で実際に手に取って選ぶことができます。今年度は7月11日（土）に紀伊國屋書店久留米店（ゆめタウン久留米）にて実施しました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、文学部・法学部・経済学部・商学部生の計23名に参加いただき、約500冊の図書を選書していただきました。データ登録やラベル等の装備が終わりしだい1階の選書ツアーコーナーへ排架します。どうぞ楽しみに！！

※参加した学生の感想

前回に比べて、バーコードを読み込む形式になったので、作業がとてもスムーズでした。本を選定する際、どうしても自分の好むような分野の棚に行ってしまうがちだったので、できるだけ触れたことのない分野の棚に行くことを心がけました。

選書ツアーをすることで、今まで知らなかった面白そうな本を見つけることができ、楽しかったです。

次回もまた機会があれば、参加したいと思いました。

以前から興味はあったが、金銭面を考慮して購入を断念していた数多くの本を選書ツアーで選べて良かった。

また、実際に図書館に置かれるということで、学生目線で選んだ本が図書館に並べられるので、とても有意義な取り組みだと思いました。



資料の排架場所を変更しました

図書館地下1階、500号館地下1階および地下2階の資料の一部を移動しました。

図書館地下1階

請求記号 370～399（教育、風俗習慣・民俗学、国防・軍事） ⇒ 500号館地下2階へ

500号館地下1階

橋本文庫・石橋文庫 ⇒ 同一フロア内の移動

500号館地下2階

越智文庫・喜田文庫・岡本文庫・三浦綾子コレクション・原島文庫 ⇒ 500号館地下1階へ
漫画本 ⇒ 同一フロア内の移動

※詳しくは、御井図書館ホームページ-館内平面図でご確認ください。

URL: http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/pdf/map_b1-2f.pdf

寄贈図書（学内関係者）

受入期間：2015年4月1日～2015年8月31日

寄贈者名	書名	著者名	出版者
図子 善信	税法概論 12 訂版	図子善信著	大蔵財務協会
関本 大樹	租税法と数理(久留米大学法政叢書:19)	関本大樹著	成文堂

※寄贈者名：敬称略。本学教員著書は、図書館1階 寄贈図書コーナーに排架。

新聞記事データベース

『聞蔵Ⅱビジュアル』 および 『ヨミダス歴史館』 の
同時アクセス数が期間限定で増加します！！

聞蔵Ⅱビジュアルとは？

1879 年（明治 12 年）の創刊号から今日まで 135 年を迎える紙面から約
1350 万件の記事・広告が検索できる日本国内最大級の新聞記事データベース。
雑誌「AERA」「週刊朝日」の記事も収録されています。**※御井キャンパス限定**

期間：平成 27 年 9 月 25 日（金）～10 月 8 日（木）

同時アクセス数：50（通常は 3）

ヨミダス歴史館とは？

1874 年（明治 7 年）の創刊号から最新号（前日付）までの読売新聞記事
1,200 万本が検索・閲覧できます。**※御井キャンパス限定**

期間：平成 27 年 9 月 25 日（金）～12 月 24 日（木）

同時アクセス数：100（通常は 1）

この機会に授業等で是非ご活用ください。

※利用ガイドなど詳しくは御井図書館ホームページ-データベース一覧でご確認ください。

URL：<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/databaselist.htm>



図書館利用状況（2015年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
開館日数		30	25	30	31	29	145
入館者数	対前年同月比	38	-268	764	-724	-217	-407
	学内者	15,331	13,257	15,808	23,317	6,625	74,338
	対前年同月比	-119	-239	-349	136	72	-499
	その他学外者	956	1,392	1,444	1,645	1,068	6,505
地域住民登録者数	対前年同月比	1	10	2	-1	2	14
	地域住民	42	31	37	30	25	165
貸出冊数 (学生)	対前年同月比	60	-160	-103	-137	82	-258
	全 体	2,345	2,452	2,815	3,019	1,150	11,781
	対前年同月比	5	-94	-23	92	86	66
	内、夜間	485	577	725	830	197	2,814
	対前年同月比	7	70	-82	39	-30	4
	内、土・日曜	133	217	192	238	173	953
	一人当たりの貸出数	0.42	0.44	0.51	0.54	0.21	2.13
貸出冊数 (教職員)	対前年同月比	-230	-45	55	17	67	-136
	全 体	406	294	366	367	296	1,729
	対前年同月比	17	-33	24	9	18	35
	内、夜間	59	59	105	84	30	337
	対前年同月比	-17	29	18	13	3	46
	内、土・日曜	17	51	47	38	35	188
貸出冊数 (その他学外者)	対前年同月比	-89	-22	-17	41	1	-86
	全 体	213	276	296	184	171	1,140
	対前年同月比	-49	-35	-47	-2	-3	-136
	内、夜間	71	68	66	60	24	289
	対前年同月比	-31	-8	-36	16	-20	-79
	内、土・日曜	71	109	113	71	66	430
AVライブラリー 利用件数	対前年同月比	7	-6	-9	6	-17	-19
	学 生	7	3	4	13	6	33
	対前年同月比	3	-12	-27	2	2	-32
	教職員	24	14	20	38	8	104
	対前年同月比	-3	-5	1	-2	-1	-10
	その他学外者	0	0	1	0	0	1
相互利用 (文献複写) 申込件数	対前年同月比	19	27	-25	-74	-38	-91
	学 生	96	64	43	0	0	203
	対前年同月比	-9	-32	-7	-40	-19	-107
	教職員	35	16	15	0	0	66
	対前年同月比	1	0	0	0	0	1
	その他学外者	1	0	0	0	0	1
相互利用 (現物貸借) 申込件数	対前年同月比	2	3	-3	-11	0	-9
	学 生	2	5	0	0	0	7
	対前年同月比	3	-17	-5	-18	-14	-51
	教職員	18	6	10	0	0	34
	対前年同月比	0	0	1	0	0	1
	その他学外者	0	0	1	0	0	1

＜貸出冊数についての注記＞

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. “夜間”とは、平日の17:00～21:00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日～4月9日、8月10日～9月24日、12月25日～12月28日、2月1日～3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民への貸出は、7月16日～8月7日、の期間は停止している。
4. 学生一人当たりの貸出数は、平成27年5月1日現在の御井キャンパスの学生数 人で算出。（留学生別科、聴講生は除く）

編集・発行 久留米大学御井図書館

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635

TEL : 0942-44-4015 FAX:0942-43-0348

<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>